



独立行政法人国立病院機構
 **松江医療センター**
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 亀崎 卓夫



新病棟

平成21年7月完成。鉄筋コンクリート5階建てで、上層階からは穴道湖も見渡せます。
 (新病棟完成に伴いその役目を終えた旧病棟群は昭和46年に建設され、38年間の長い間病院の運営を支えてくれました。)

まぐじ

念願の新病棟が完成しました！	2	栄養管理室から	11
新病棟完成記念式典・見学会の報告	2～3	天理教による「ひのきしん」奉仕活動をしていただきました	12
有り難うございました	3	新和設備工業(株)の皆さんによる奉仕活動をしていただきました	12
医療安全管理研修会 ～安全に新病棟への移転を行うために～	4	摂食指導講習会に参加して	12
医療教育研修室から——教育効果のアウトカム——	5	「たのしかったね～ふるさと森林公園で遊んだよ！」	13
日本肺癌学会中国・四国支部会	6	お知らせ 第3回健康フェスタ	13
平成21年度「1日看護体験」を終えて	7	平成21年度呼吸器看護研修会に参加して	14
ホスピタリティーマインド向上研修	8～9	第3回地域医療連携交流会	14
しじみ会(四月桜号・五月鯉のぼり号・六月紫陽花号)	9	松江医療センター元気宣言!	15
「看護の日」の行事を終えて	10	外来診療表	16

基本理念

私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



念願の新病棟が完成しました！

院長 **徳島** とくしま **武** たけし

本年7月17日に念願の新病棟が完成しました。7月26日(日)に完成記念式典を催し、医師会の先生方や県や市の行政関係の皆様、また国立病院機構の他施設の職員の方々等、123名のご出席のもと、盛大に完成を祝いました。午後からは見学会を開催し、300名以上の地域住民の皆さんに新病棟を見て頂きました。そして8月4日から3日間かけて、入院患者さんの病棟移動を行い、ここに新しい病棟での診療をスタートしました。

当院は5年前に国立療養所から独立行政法人化し、従来の政策医療と地域医療の拠点を目指して体制作りを進めてきました。そして本年4月にはこの新病棟完成に先がけ、病院名称を「松江病院」から「松江医療センター」と改称いたしました。病棟新築を契機に、「結核の療養所」という暗いイメージを払拭して、今年を医療センターの「新たなスタートの年」と考えています。

新病棟は、鉄筋コンクリート5階建て、8534㎡、290床の病棟です。その特徴は急性期一般病棟と慢性期障害者病棟の混合です。すなわち1～3階は各階60床の病棟で、重症心身障害児(者)、筋ジストロフィー、神経難病などの長期療養が必要な患者さんの生活の場として、医療と福祉の両面から支えていきます。快適かつ効率的な入浴のために介護用シャワー入浴装置(ミスト浴)を導入し、患者さんのためのケーブルテレビやインターネット環境を整備しました。また4、5階病棟は呼吸器疾患を中心とする急性期一般医療の病棟です。病室や廊下は広く明るく、個室も多く設計されており、特に見晴らしの良い5階病棟には、肺癌等の患者さんへの緩和ケアの病室も設けて、緩和医療の充実に取り組みます。また結核用病床は4階病棟にユニット化して12床の病室を配置しています。

国立病院機構の病院の中でも、このように急性期一般

病棟と慢性期障害者病棟が混在する建物は初めての試みだそうです。病棟間の距離がなくなることで、各診療科がより緊密に連携をとりながら、患者さんの高齢化が進む重症心身障害医療、筋ジス医療においても、チーム医療の実践を図りたいと思っています。

新病棟完成により、これまでの療養所特有の“むき出しの配管が走る、低い天井の暗い廊下”とは、さよならです。入院患者さんの療養環境は格段に良くなりましたし、私達働く職員も気持ちを新たに、温かい医療や療育を目指して頑張っていけると張り切っています。

そして次には建替の第2段階として、病院の玄関側にある外来診療棟と管理棟の建替を計画しています。そして緑豊かな環境の中で、呼吸器医療と障害者医療という当院の強みに力を入れて、これからも特色ある医療を実践し、「松江医療センター」の名にふさわしい地域医療の拠点センターとしての役割を担っていきます。そして地域住民の皆さんに愛され信頼される病院になるよう、職員一同さらに頑張りますので、今後とも引き続きご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。



5階病棟からの眺め

新病棟完成記念式典・見学会の報告

管理課長 **さか** **もと** **し** **ろう**
坂 **本** **士** **朗**



テープカット

念願の新病棟が完成しました。7月17日の竣工後、国立病院機構本部の竣工検査、厚生局の医療法検査を経、7月26日(日)に完成記念式典と見学会を催しました。来賓の方からはお祝いの言葉と共に政策医療・地域医療に対する期待の言葉を数多く頂き、職員一同

身の引き締まる思いでした。また、多くの方々からお祝いの電報や品々も頂戴いたしました。これらについても国立病院機構松江医療センターに対する皆様からの期待の現れと理解し、これにお応えすべく頑張っていく所存であります。



徳島院長式辞

式典の後、テープカットを行い、式典参加者の皆さんに病棟を見ていただきましたが、5階からは宍道湖が望め、眺望も素晴らしいとの感想を多数聞くことが出来ました。

午後からは地域住民の方々、病院OBの方々を中心とした一般見学会を開きましたが、同時に肺年齢測定・血管年齢測定の無料検診を実施することとしていました。悪天候にも関わらず300名を越える方々の来院があり、大量に用意した上履きも不足してしまうという有様でした。原因は新聞に掲載した肺年齢測定・血管年齢測定の無料検診の広告で、これを目当てに多数の方がお出でになっていたため、結局ほんの一部の方



頂いたお祝いの品々

にしか検査を実施することが出来ず、皆様には大変なご迷惑をお掛けすることとなり、お

叱りの言葉も数多く頂き、企画した側の者として深く反省しております。

新病棟の感想としては、午前中のそれと同じく「病室が広い」、「眺めが良い」等々の有り難い言葉をいただき、そこに勤務する者として少し誇らしく思いました。

ばたばたと混乱のうちに午後の見学会は終了した感じでしたが、ご協力いただいた職員の皆さん、大変お疲れさまでした。



式典後の見学会



来賓の皆様

有り難うございました

新病棟完成に際して、皆様方からお祝いの品物を沢山頂戴いたしました。まず、筋ジス病棟家族会、重症心身障害児(者)家族会の皆さんからなんと46型液晶テレビ(AQUOSですよAQUOS!) & 周辺機器を頂きました。写真のとおり同一機種ですが、よく見ると筋ジス病棟家族会から頂いたものは台が四角っぽくて重厚な印象、重症心身障害児(者)家族会から頂いたものは台が多角形ですっきりした印象を受けます。(その辺意識して変えられたのでしょうか?) 当然ながら筋ジス病棟、重症心身障害児に設置され、愛用されています。次は、昨年来待石の灯籠を頂いた川津富美子様から今回は柱時計を頂きました。病棟ホールのデ

ザインにマッチしていて、自然な感じです。これから優雅に時を刻んでくれることでしょう。そして松江病院OB会の皆さんから絵画(桜)を、医療法人社団創健会の皆さんから御酒を頂きました。その他にも多くの皆さんから鉢植えの花や観葉植物などをいただき、病棟は急に華やかになりました。皆様のお心遣いに感謝いたします。



柱時計



筋ジス病棟家族会から



重症心身障害児(者)家族会から



桜と御酒…花見?

医療安全管理研修会

～安全に新病棟への移転を行うために～

医療安全管理室 医療安全管理係長 **いし かわ かず え**
石 川 和 枝

念願の新病棟が建ち、職員一同新病棟へのあこがれを持っておりますが、いざ引っ越しとなると「どのようにしたら良いのだろうか?」「人工呼吸器を装着した患者さんが70名以上入院されている状況でどうなるのだろうか?」など不安の声も聞こえていました。そこで8月の新病棟への移転を前に、平成21年度第一回医療安全管理研修会を「患者さんの移送を安全を第一に考え実施できる」を目的に開催いたしました。

内容としては、医療安全を進めていく上ではKYT(危険予知トレーニング)をすることが大切であり、リスク感性を養うことでその効果があがるため、例題として移送時のスライドを用いて伝えました。次に実際に新病棟への移送時の移動経路にどんな危険が潜んでいるのか、ベッドを移動させてシミュレーションを



院長直々の技術指導

する良い機会ともなり、今後にも活かせる体験ができたのではないのでしょうか。他職種の方もアンビューバッグを使用しての呼吸法を体験し、患者様の移送時にはよりよいチームワークをとることで、安全な移送が実施できることを体感していただきました。参加者の感想として、「移転については漠然としていたけれど、注意すべきことが少しわかった気がする」「安全に引っ越しできるといいな」等の声が聞かれました。

今回の研修では、色々な職場から108名というたくさんの参加がありました。これは病棟移転に対する職員の関心の高さの現れだと思います。松江医療センターの新たな一歩として全職員が一丸となり、無事に移転を終えたいと考えています。

(追記 8月4日～6日の3日間移転作業を実施し、無事終了しました。関係の皆様有難うございました。)



椅子が足りない程の参加者数

行った場面を基に説明しました。シミュレーションの映像や建物の構造等を写真で映し、参加された職員の皆さんの視覚に訴える方法をとりました。新病棟内の写真を見ていただきイメージをわかせる、移転に臨んでいただくことが出来たのではないのでしょうか。笠置臨床工学技士にもたくさんの医療機器を移動させるにあたっての注意事項を説明してもらいました。後半は移動時の呼吸管理が安全に行えるために、アンビューバッグの使用方法について体験し実感してみました。日頃看護師は、入浴や人工呼吸器回路交換時にアンビューバッグを使用していますが、どの程度の換気量で自分がアンビューバッグを押しているのかなど数値を測定



皆さん真剣です

医療教育研修室から

— 教育効果のアウトカム —

呼吸器内科医長・医療教育研修室長（兼任） **かど わき とある**
門 脇 徹

医療教育研修室が発足し、早くも3ヶ月余りが経過しました。5月には旧3病棟の空き部屋の利用により念願の活動場所を得ることが



7月呼吸器疾患勉強会にて

できました。そしてこの4月～6月の間、既に企画されていた呼吸器疾患勉強会に加えて肺癌化学療法勉強会を月に1回ずつ開催しました。6回の勉強会には平均57人の参加があり、昨年度の同時期の平均参加人数の45人を上回っています。これはスタッフの学習意欲向上の現れとして手応えを感じています。しかし、これに満足しては飛躍はありません。

発足当初に設定した当研修室主導で行う教育の主要アウトカム (outcome = 結果・成果) は、“当院全体の医療水準を維持・向上させる” ことです。これを目指し続けることは我々医療人にとって永遠のテーマであり、そのためには効率のよい教育体制の構築が急務であって、我々に課せられた使命なのです。

さて、難易度の高い命題を解決するにはそれに関わるもの全員が共通のイメージを持つことが重要です。そこで臨床研究計画風に考えてみました。臨床研究では取っ掛かりとしてリサーチクエスチョンを以下のように「P・E・C・O」で示します。

- P：どのような患者さん (Patient) に
- E：どのような介入 (Exposure) をすると
- C：その代案と比較 (Comparison) して
- O：どのような結果 (Outcome) になるか？

これを医療教育研修室が目指す姿に当てはめると、

- P：医療スタッフ (を対象に)
- E：院内教育の充実 (をすると)
- C：従来の院内教育 (と比較して)
- O：さらにハイレベルな知識・技術を持つスタッフの育成 (が図れる)

と上記のような仮説が成立します。但し、ここで重要な問題点があります。PECOの“O”であるアウトカムを測定する客観的指標 (変数・因子) がないのです。それは前述のような勉強会出席人数でもなく、インシデントの増減でもなく、テストなどの点数の上昇でも

ないし、病棟でのディスカッションの増加でもないでしょう。これら一つ一つはアウトカムとしては“部分的”であり、主要アウトカムの十分条件には成りませんが、残念ながら必要十分とまではいかないのです。

ではどうすればよいのでしょうか？ 以下の2点がその解決策と考えています。第一にアウトカムが“P”であるスタッフ間で一定ではないことが前提 (目指すところは同じではあるが、人それぞれ出発点・到達点が異なる) なわけですから、私は“E”である教育介入を標準化するしかないと考えます。このような考えの下に呼吸器勉強会については既存の資格認定 (呼吸療法認定士) のテキストに沿った教育を行っています。第二に教育を提供する側から教育を受ける側への一方向のやり取りでなく、双方向のやり取りを続けることです。スタッフの皆さんの“知りたい”という要望に



医療教育研修室Meeting風景

応えないといけません。具体的にはアンケートの実施や、『企画書』システムの構築により要望の高い研修内容を

当研修室発信で実現可能としました。この教育の標準化と双方向化の2つを軸として教育効果を上げたいと考えています。

最後に。臨床研究では主要アウトカムに加えて“副次的アウトカム”も設定します。私は当研修室主導の教育の充実による副次的アウトカムは『院内のコミュニケーションの活性化』と考えていて、そうなることをかなり期待しています。こうなれば当院は組織として職場として“ブレイクスルー”できるでしょう。時間はかかると思いますが、近い将来そんな日が必ず来る、と私は信じています。それには日々の地道な努力がやはり欠かせません。ぜひ医療教育研修室をうまく利用してください！共にがんばりましょう！！



人工呼吸器体験会風景

日本肺癌学会中国・四国支部会

内科医長 わかばやしきりょう 若林規良



徳島会長

夏本番を迎えつつあった7月17、18日に当院院長徳島武先生を会長に第48回日本肺癌学会中国・四国支部会と島根大学磯部威先生を会長に第44回日本呼吸器学会中国四国地方会が10年ぶりに島根県@松江テルサにおいて合同で開催されました。(この学会は中四国の各県の持ち回りなので9年=9県で一回りです)

初日はあいにくの豪雨で輸送機関の遅れや不通が発生するなど予想外の天候でしたが、大きなトラブルもなく、大勢の参加者のもと盛会となりました。

同日夕には両学会合同の懇親会も行なわれ、中四国ブロックを担当する呼吸器分野の重鎮の先生方の本音(お酒が入り



磯部会長



受付準備完了

ますので)を聞くことができ、とても有意義な会でした。そこでは中四国の各県の呼吸器科医の実情に関する話が多くあり、やはりどこもかなり苦しいやり繰りをしているとのことでしたので、呼吸器診療を担当する医師が8人もいる当院は恵まれている(ベッド数あ



松江医療センター主催の症例検討会の様子1



松江医療センター主催の症例検討会の様子2

りの呼吸器専門医の数は日本トップクラスだと思います)のだと改めて実感いたしました。

さて、学会そのものの話に戻りますが、今回の学会運営は今時の学会としては珍しく(普通は専門のいわゆる学会屋さんといわれるイベント会社が全てを仕切ります)、当院および島根大学病院の医師とイベント会社、製薬会社の関係者の方々が共同スタッフとなり開催されました。そういうことでスタッフとなってしまった我々は自身の発表と学会の進行という二足のわらじを履くこととなったため、優雅に講演を聴くということは出来ませんでした。各会場は盛況だったようなのがなによりです。特に研修医を対象にした研修医優秀演題賞を懸けた発表のセッションは、初々しい研修医の先生の発表とそれに質問するベテラン医師達の構図がとても面白かったです(高木先生お疲れ様でした、そして惜しかったですね)。



研修医優秀演題賞会場

次年度は徳島県で行なわれる予定ですので、次回はゲスト?としてじっくりと講演を聞きたいと思います。

~徳島院長以下スタッフとして働かれた皆さん、大変お疲れ様でした。~

平成21年度「1日看護体験」を終えて

第10病棟 看護師長 ^{つば}坪 ^{くら}倉 ^{いさ}功 ^こ子

7月28日（火）8:30-13:00の半日、一日看護体験を行いました。

参加校は2校でしたが、今年は高校1年生～3年生、中学3年生と昨年より幅広い学年の学生さん方10名の方が参加してくださいました。初めての医療現場での体験で、びっくりしたり嬉しかったりといろいろな感想が聞かれました。患者さんの手浴や足浴、散歩なども行ってもらいましたが、患者さんも楽しみにしておられ、いつもより一層嬉しそうなお顔を学生さんとお話をしてくださいました。患者さんからの「ありがとう」という言葉や態度から学んだことも多くあったようです。将来この学生さんたちと、看護師として一緒に働けるといいなと思いながら看護体験を終了しました。学生さんの感想文の一部をここに掲載させていただきます。

血圧を実際に測ってみると難しかったけど、なれば、測れるようになってうれしかったです。

看護師さんに質問したところ、高校を卒業して、大学・専門学校等で医療系の勉強をし、国家試験を合格してやっと看護師という職業につける難関な道を通って来られたらしいです。それを乗り越えて生き生きとしている看護師さんを見て、すごく素敵だと思いました。



筋ジストロフィーという病気の名前は聞いたことがありますが、実際に患者さんと触れ合ってみて、病気の大変さ、看護の大変さを身にしみてわかることができました。足浴・手浴をさせていただきましたが、患者さんは涙を流して喜んでいらして、本当に心から嬉しく思いました。患者さんにありがとうと言われると、辛いことがあってもその一言に全部忘れさせてもらえるようになりました。

私は、将来看護師になりたいと思っています。今日の体験で、看護師というのは、とても体力がいる仕事だと思いました。でもそれ以上に楽しさや、やりがいのある仕事だと思いました。手・足を洗ったり、血圧測定など普段できない体験ができてうれしかったです。今日体験したことを忘れず、思いやりを持って看護師に少しでも近づけるように頑張りたいと思います。



.....ホスピタリティーマインド向上研修.....

6月19日に鳥取大学准教授の高塚人志先生をお招きし、採用後3年目までの職員を対象とした研修会を行いました。長丁場（9時間）の研修でしたが、31名の受講生全員が気持ちよく修了したようです。受講生のうち、何人かに感想文をお願いしてみました。

ホスピタリティー向上研修～気付きの体験学習～を受けての感想

第2病棟（新4階病棟）看護師 ^の 野尻 ^の 麻衣子

今回この研修を受け、今まで自分が患者様に対して忙しい時などにしっかりと向き合って話を聴くことが出来ていなかったと気付くことができました。その時どんなに忙しくても、後で話を聴くなどして患者様の訴えに耳を傾けることの大切さがわかりました。

一方通行に話すのではなく、お互いの考えや気持ちを理解しようとしながら、相手と向き合いながら話をすることがコミュニケーションなのだと、改めてコミュニケーションとは何なのかを考えさせられました。

相手と自分は立っている立場や考え方が異なるので、まず相手を知るには、相手と向き合い、話に耳を傾け、そして自分の考えや思いを伝えることが大切なのだと気付きました。

今回この研修を受けることができ、温かい気持ちになることができました。これからは、今回学んだことを意識しながら人と関わり、関係を築いていきたいと思います。



研修風景です

ホスピタリティーマインド

第10病棟 看護師 ^の 谷尻 ^の 健

今回の研修を通して、私はコミュニケーションを日々の暮らしの中で自然と行っており、普段から意識して「コミュニケーション」という言葉の意味について考えるという行為を行っていないことに気付きました。

研修を行う前には、『コミュニケーションとは人が言

葉を伝え合うということ』と考えていました。しかし、研修を通して、言葉を交わした上で思いを伝え、分かり合うことが、コミュニケーションの成立に必要であるということ学びました。

この研修で学んだことを生かして、職場で今後からは言葉を伝えると同時に考えや思いが正しく伝わっているのかを相手に確認していく必要があると考え、少しずつ実践していきたいと思えます。そして、職場全体が正しくコミュニケーションをとれるより良い職場環境になることを目指していきたいと思えます。



おっかしいなあ～

ホスピタリティーマインドの研修を受講して

リハビリテーション科 理学療法士 ^の 中山 ^の 真喜

リハビリテーションでは、一人の患者様と向き合う時間が長くコミュニケーションはとても重要視されますが、特にここ松江医療センターでは長期入院される患者様が多い為に、長い年月を良好に共に過ごすには信頼関係を築く事が大切です。今回の講習を通してコミュニケーションのスキルアップができればと思い参加しました。

コミュニケーション力とは、意味を正確につかみ、感情を理解しあう力のことを言うそうです。感情を理解するには相手の立場に立とうとする姿勢が大切ですが、多忙な中で忘れがちになっていました。話を聴く事や伝える事など基本的な事ではありますが、実際に相手の立場を経験する事で患者さんやスタッフに対する自分の言動を改めなければいけないと感じました。今回の講習での経験を生かし、日々の生活の中でさらにコミュニケーション力に磨きをかけ、患者様やスタッフとの信頼関係を築いていきたいと思えます。



短冊に何を書いたのでしょうか？

「ホスピタリティー向上研修をおえて」

療育指導室 児童指導員 ^{あり よし ひろ りみ} 有 吉 博 史

今回のホスピタリティー向上研修をおえて一番感じたことは、人に気持ちを伝えることの難しさとお切さです。一日の講義の中で実体験を通して行うものも多く、自分自身のコミュニケーションの仕方を改めて振り返ることができました。実体験の講義の一つに、相手に絵を言葉で伝えるというものがあったのですが、説明がうまくできませんでした。この実体験の講義を終えて私はしっかりと相手のことを考えて話しているか、相手の話を曖昧に聞いてはいないだろうか、そういったことを深く考えさせられました。それと同時に、他の職種の方とコミュニケーションをとることが非常に重要だということも改めて感じさせられました。

今回の研修で気づいた、相手にどのように伝えれば明確に自分の意図を伝えることができるか、ということをお自分自身の中で留意しつつ患者さんや多職種の方と向き合って業務を行いたいと思います。



一同写真



一同写真スタンバイ前…

しじみ会

四月桜号 五月鯉のぼり号 六月紫陽花号

リハビリテーション科 作業療法士 ^{みつ い たか りみ} 三 井 貴 史

- ・母の日に 鉢植え届き 頬緩み となりの住人
- ・汗を拭き ちまきを湯でて 子の噂 やどかりさん
- ・そよ風が そっとささやく 部屋の中 永島さん
- ・最後決め さすがと思わす イチローだ [K]さん
- ・葉っぱ落ち 青葉ふさふさ 涼しいね 岡さん
- ・夕陽追い 一人車で 赴任先 浜トミーさん (トリ・トミーさん改め)
- ・まばゆくも 山吹にさす 陽の光 京の静さん
- ・たけのこや 十二単の ^{うぶころも}産衣 けんーさん
- ・舟神事 水都松江を 再確認 白イルカさん
- ・紫陽花の 色彩染まる カタツムリ ヒミコジャパンさん
- ・ふるさとの ところかまわず 草萌ゆる 松浦さん
- ・連休の 高速道路 低速か みーさん
- ・春がきて 松江きて コイもまた かどさん

「看護の日」の行事を終えて

看護の日実行委員 看護師長 **つば くら いさ こ**
坪 倉 功 子

今年度も「看護の日」にちなんだ行事を行いました。前の週の5月7日には「ナイチンゲール像」を1年ぶりに玄関ホールに出し、「看護の日」当日の5月12日は、入院患者さんに受け持ち看護師から、メッセージを書いてお渡ししました。寝たきりで、話すこともなかなかできない状態の患者さんが、カードのメッセージを読んで涙を流された場面もあり、気持ちを言葉にして伝えることの大切さを改めて感じました。



ナイチンゲール像

30名ほどの患者さんの参加もありました。また、折り紙の兜を折って患者さまにプレゼントして喜んでいただきました。



「健康フェスタ」開催中!



メッセージカードは昼食時にお渡ししました

東1病棟では、メッセージカードの代わりに、「鯉のぼり」「ぶんぶんぶん」の2曲を聞いていただきました。歌い手は保育士・指導員・看護師・患者さんで、



東1病棟です～ 今から歌うところ?

5月14日(木)は「看護フェア」を、スーパーマーケット「みしまや上乃木店」で10:00~12:00の2時間開催しました。お天気に恵まれた中で、血圧測定・体成分測定・骨密度測定・医療相談・栄養相談・薬剤相談を行い、約50名の方が来られました。特に体成分測定・骨密度測定は人気があり、待っていただく状態でした。測定結果を持って、医師の説明を受けられ、「異常がないと言われた、良かった」と笑顔でお帰りになる方もおられ、私たちも嬉しく感じました。



各種相談の様子です

何れのイベントも準備の段階から当日、後片付けまで多くの職場の方々の協力を得て終了することが出来、この積極的に協力し合うことのできる松江医療センターの風土や職員の気質が、大きな力となっていることを実感しました。

栄養管理室から

栄養管理室 管理栄養士 おおかわち ともみ 大河内 ともみ 友美 伊東 いとう しおり 志織

・ 祝 開棟弁当

8月4日から3日間かけての新病棟への移転も無事終わりました。新病棟の開棟にあたり栄養管理室として何か出来ないだろうかということで、移転最終日6日の夕食にお祝いのお弁当を出すことにしました。

お赤飯に鰯の照り焼き、お祝いの焼印の入った卵焼き、エビフライ、牛肉の甘辛煮、炊き合わせ、メロンなどなど…

お祝いにふさわしい内容でということで調理師がメニューを考えました。お弁当を持って、病室ではなく景色のよい食堂で召し上がられた患者さんもいらっしまったようでした。

これからも栄養士・調理師一丸となって患者さまに美味しく食べていただき、元気になってもらえるような献立、調理を行っていきたいと思います。



外観はこんな感じです



蓋をあけると・・・

・ 嚥下食試食を行いました

嚥下機能低下が見られる患者様にも、「安心安全で美味しい食事を提供したい」という思いから、調理師と共に嚥下食献立を立ち上げるべく、試行錯誤を繰り返す事早1年。なんとか、形あるものとして、提供できる準備が整いました。

嚥下食導入に先駆けて、勉強会を兼ねた試食会を開催しました。当日は、医師・看護師・その他スタッフ総勢50名の参加がありました。様々なご意見を頂き、今後の検討課題も見えてきました。今後もこのような機会を設けて、様々な意見をいただきながら、嚥下食のメニュー改良を進めて行きたいと思います。



言語聴覚士の講義



試食会その1



試食会その2



展示コーナー

・ すみれ食



東5病棟で召し上がっていただいている食事の中に東5食という食事があります。(皆様ご存知でしたか?) 新病棟移転に伴い、東5病棟が無くなるのに食事名がこのままでは・・・???

ということで、患者様からご意見を頂き素敵な名前に変更することとなりました。新食種名は「すみれ食」。“すみれ”の花言葉は小さな愛。

これからも心を込めた食事をお届けできるように、栄養管理室スタッフ一同日々精進いたします。



<すみれ食開始記念日の夕食>



ハート付きです!

天理教による「ひのきしん」奉仕活動をしていただきました。

今年も4月29日に毎年恒例の行事となっている天理教の奉仕活動「ひのきしん」での草刈りをしていただきました。当日は晴天で、熱中症の心配もあるくらい陽気でしたが幸いなことに大きなトラブルもなく、300名を超える天理教の皆さん全員による極めて組織的な草刈りで（写真参照）、すっきりいたしました。ありがとうございました。



1 亀崎部長の挨拶。何となくアドレスが変?



2 多勢の方に来ていただきました



3 庭園方面の皆さん



4 新たな運搬器具が出現



5 かなりスッキリしました

新和設備工業(株)の皆さんによる奉仕活動をしていただきました。

奉仕活動に積極的に取り組まれている新和設備工業(株)〔島根県松江市平成町〕さんにも、ボランティア活動の申し入れをいただきました。今年も施設内の空調設備のフィルタ清掃をお願いし、6月6日(土)に実施していただいた様子がこれらの写真でして、今年で2回目とあってきばきと作業をこなしておられました。約5時間の活動で支障等なく完了。お陰さまで冷房の運転に入ることが出来ます。ありがとうございました。



1 準備万端!



2 埃が取れるの気持ちいい



3 かなり手慣れて来てます



4 取付完了! 余裕さえ感じられます



5 この病棟のフィルタ清掃も最後かぁ

摂食指導講習会に参加して

東2病棟(新2階病棟) 看護師 ^{あだち}安達 ^{いづみ}いづみ ^{こばやし}小林 ^{かよこ}加代子

6月9・10日の2日間、摂食指導(基礎・実習)講習会が東京の心身障害児総合医療療育センターで行われました。今回東2病棟から2名の参加をさせて頂き、摂食についての知識と技術を習得してきました。

1日目は心身障害児総合医療療育センターの尾本先生の講義があり、摂食訓練をするうえで基本的な知識を学びました。2日目は実習が行われ、実際口唇を閉

鎖しないまま、スナック菓子を食べてみて口唇閉鎖の必要性を体験を通して理解しました。2日間の講習会を通して、個々の発達に応じた摂食訓練の重要性が理解でき、根拠に基づいた方法を今後病棟ですすめて行きたいと思いました。

忙しい中研修に参加させて頂き感謝致します。

「たのしかったね～ふるさと森林公園で遊んだよ！」

5月14日。ふるさと森林公園まで親子遠足を催しました。20家族+職員の総勢52名で目いっぱい楽しんで来ました。

「うちのひとがいっしょでたのしい」「おともだちがいっしょでたのしい」と、ルンルンで大型バスに乗り込みます。バスの中ではクラスの先生に呼名してもらおうと、「ここにすわってるよ」と元気な返事やお顔を見せてくれた子供たちでした。

お行儀も良く、公共の場のルールも守れ感心々々。

森林公園は新緑をバックにとっても絵になる風景でした。車の騒音もなく、自然の配色は鮮やかで、若葉の茂みからは時折、時鳥ほととぎすの声も聞こえていました。

子供たちは、お母さんの手を引っ張って「あそぼう～」と誘っていました。「うちのおとうさん、タイヤのうごくのできるよ!」、「おべんとう、おいしかった!」などと生き活きと伝えてくる子供たちから、触れ合いを通じて心地よさを感じてくれているんだな～と、またそれを皆に伝えたいんだな～と、はっきりと感じ取ることができました。

職員が用意した大縄跳びに参加して下さったおばあちゃん、ありがとうございました。一緒に跳べてよかったですよ。

子供さんを抱っこして跳んで下さったお父さん方、とても楽しかったですね。

さくら保育園 保育士 ^{もり い みよこ} 森 井 美代子

ビーチバレーではしゃいで下さったお母さん方、また一緒にやりましょうね。

みんなで声が出せて気持ちよかったです。

また、木陰でゆっくり時間を過ごして下さったベビーちゃんのお母さん方も新密度がアップ!!

それぞれに子供を囲んでの時間を作っていただいたお陰で、子供たちの喜ぶ姿が見られました。

今年度も、みんなで力を合わせて、さくら保育園を盛り立てていきましょう!!

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



お知らせ



第3回健康フェスタ

と き 平成21年9月26日(土) 13:00~16:00

と ころ 松江サティ店内

対 象 松江サティにご来店の方

内 容 医師による医療相談・管理栄養士による栄養相談・薬剤師によるお薬相談・肺機能測定・経皮的酸素飽和度測定・骨密度測定・体内脂肪測定・血圧測定(全て無料です。また、検査は何れも殆ど負荷のかからないものです。)

※全て予定です。内容等について若干の変更はご了承下さい。

平成21年度呼吸器看護研修会に参加して

第2病棟（新4階病棟） 看護師 **小 田 聖 子**

6月23日から26日まで山口宇部医療センターへ研修に行ってきました。研修では呼吸器看護に関することをトータル的に学び、関連づけることが出来ました。呼吸器に関する検査では、呼吸機能検査がいかに診断や治療方針決定のうえで重要となるかを再認識することができました。また、結核診断に関する検査では塗抹培養、遺伝子検査などによって何が判断できるかを学び、松江医療センターにも結核病棟があるため知識をもっと深めていかなければならないと思いました。

最近話題にもなっている、アスベストによる石綿肺、悪性中皮腫については患者さんに関わった経験が少なく文献を手取る機会もあまりなかったため、講義で最新治療も含めて学ぶことが出来、今後患者さんに関わる上で役立てていきたいと考えています。

SAS（睡眠時無呼吸症候群）、喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）では、禁煙や日々のコントロール、呼吸筋体操などの予防的行動、増悪時の早めの治療がいかに重要かが分かりました。自宅での生活や家族の方のフォロー体制など、患者背景の情報収集や指導をしていく中で、学んだ事を活かし退院に向けて関わっていききたいと思います。

結核については、再発・多剤耐性等患者さんの自己判断による治療中断の恐ろしさと、予防のためのDO

TS（直接服薬確認治療）の重要性を学びました。今後結核病棟で勤務したときには、臨床で実際に経験を重ねていきたいと思っています。

今勤務している病棟では肺癌の患者さんに関わる機会が多いため、化学療法や緩和ケアなどは、特に興味深い内容でした。化学療法看護では、松江医療センターで使用しているものと分類が違うパスやチェック表を用いて告知時のフォローから治療前中後の全身状態管理まで行われており、参考になりました。緩和ケアといえどターミナルであると思いがちでしたが、精神的ケアから疼痛コントロールまで、看護師として今よりもっと介入できる部分があることを学びました、研修伝達や臨床の中で他の看護師たちに伝えていきたいと考えます。

山口宇部医療センターは呼吸筋体操などリハビリのパスも作成されており、また緩和ケア病棟があることで緩和ケア体制も整っており、とても参考になりました。他の病院に触れる機会を頂き、良い気分転換、違った視点の気づきになりました。

病棟での看護に今回の研修での学びが少しでも活かせるよう頑張っていきたいと思います。研修に参加させていただき、大変有り難うございました。

お知らせ

第3回地域医療連携交流会

と き 平成21年10月14日(水) 19:00~21:00
 ところ 松江東急イン
 対 象 各地区医師会の先生方
 内 容 当院診療科紹介・懇親会

●●● 松江医療センター元気宣言！ ●●●

東1・2病棟合同行事「ふれあいの日」

療育指導室 保育士 木村 洋子

今年の「ふれあいの日」は、6月7日に昨年までとは少し違うやり方で行われました。昨年までは午前中から体育館に集合していましたが、今年は、午前中にそれぞれの病棟で家族の方と「うちわ作り」（うちわに各々好みの絵を貼ったり、シールを貼ったり、スズを付けたり）で触れ合い、午後から体育館に集合するという形でした。午後の部は、家族会会長挨拶、副院長挨拶の後、家族会による踊り、曲は「きよしのソーラン節」で開演です。会場のみんはうちわを振って応援しました。（練習時間が短かったと聞いていたのにバッチリ揃っていたので驚き。）その後、松江市消防音楽隊の皆さんによる演奏を聴きました。「崖上のポニョ」から「涙そうそう」、「フーテンの寅さん」など幾つものジャンルから選んだ曲の数々を楽しませていただきました。また、演奏の合間には火災の際の消防服への着替えのパフォーマンスを見せていただいたり（とても素早いのにビックリ！）、服の説明を聞いたり、と一味違った演奏会でした。最後にみんなからのお礼の花束贈呈がありました。その後、体育館に出かけることの出来なかった方たちのために出前演奏もしていただきました。みなさんしっかりご家族の方、ボランティアの方、そして職員とふれあうことができたのではないのでしょうか？



松江市消防音楽隊の皆さんによる演奏

祝 松江コンビグ初遠征試合!!

療育指導室 児童指導員 市河 裕智

平成19年から活動をしている筋ジストロフィー入院患者さんと外来患者さんで構成される電動車椅子サッカーチーム チーム名「松江COMBIG (コンビグ)」(宍道

湖第131号既報)が、なんと！なんと！広島県東広島市へ初の遠征試合に行ってきました。

発端は、今年5月の他チームとの交流会でした。交流会後、相手チームの選手から「7月の中国選手権に出るの？」という話がありました。さあ～て、そこからが彼ら選手にとって長い長い物語の始まりです。選手たちで話し合いをし、自分たちの状況や周囲の状況を細かに検討した結果、「出場したい！」との意思を最終確認したのは、試合当日までなんと、あと1ヶ月半...？。

こんな短期間で果たして選手たちは遠征計画を立てることができるのか!?主治医・病棟やご家族の許可、確認は取れるのか!?そもそも、彼らの体力で長旅に耐えることができるのか!?などの不安材料が瞬時に脳裏をかすめました。彼らの熱意も並々ならぬものがあり、すったもんだの結果GOサインをいただきました。

試合当日もすんなりとは行かず「～が壊れた!?」などと、いろいろなハプニングに見舞われましたが何とか試合には出場でき、ホットした瞬間でもありました。試合の結果としては2戦2敗でしたが、選手たち自身、スポーツを通して気づくことがたくさんあった良い試合だったと思っています。次回は、11月に同じ東広島市で3戦目の試合があるのでそれに向けてみんなががんばっているところです。

松江コンビグ 概要

選手	筋ジストロフィー患者 (入院6名 外来2名)
支援スタッフ	リハビリテーション科 6名 療育指導室 2名
活動日	毎週木曜日午後6時～7時まで
活動場所	当院の体育館でがんばってます！

お知らせ

ボランティアを常時募集中です。
内容は、球拾い・車椅子への移乗介助・サッカー用具の付け外しなどです。

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成21年4月1日～

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	日	矢野	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 竹山 博泰 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 若林 規良 【副院長】呼吸器一般・アレルギー 【統括診療部長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般・アレルギー
	月	若林	若林	竹山	竹山		
循環器内科		石川				石川	【循環器内科】 石川 成範 循環器内科一般
消化器内科		三原				石原	
神経内科			下山		足立		【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二 神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科		徳島		目次		荒木	
小児科	発達専門外来	久保田(予約)	齋田(予約)	齋田(予約)	久保田(予約)	齋田(予約)	【消化器内科】 石原 孝之 三原 修 消化器内科一般 消化器内科一般
	予防接種		齋田(予約)				
特	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 高木 雄三 中井 勲 【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺癌・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
	睡眠時無呼吸外来				呼吸器科担当医(予約)		
殊	喘息アレルギー外来		呼吸器科担当医(予約)				【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	咳嗽外来			竹山(予約)	竹山(予約)		
外	禁煙外来			竹山(予約)	竹山(予約)		【麻酔科】 木下 謙 麻酔科標榜医・一般外科
	アスベスト外来			竹山(予約)	竹山(予約)		
来	嚔下障害外来		下山(予約)				診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00
	神経難病外来		下山		足立		
その他	筋ジストロフィー専門外来				下山(予約)		独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	セカンドオピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	小児科発達専門外来	診療日: 毎週月～金曜日 内容と特色: ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日: 毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色: ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(+喀痰検査6,300円税込み)
	睡眠時無呼吸外	診療日: 毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色: いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日: 毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色: 息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日: 毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本アレルギー学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日: 毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (咳嗽研究会会員が担当) 内容と特色: 3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。声楽家・アナウンサー・教師など声を重要な手段とされる方の悩み。
	禁煙外来	診療日: 毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日: 毎週水・木 8:30～11:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚔下障害外来	診療日: 毎週火曜日 8:30～ 嚔下障害外来 (要予約)
	神経難病外来	診療日: 毎週火・木 8:30～ 神経難病外来
筋ジストロフィー専門外来	診療日: 毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色: 筋ジストロフィー病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。	
セカンドオピニオン外来	診療日: 完全予約制 紹介状必要です。 内容と特色: 呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当致します。	